

2022（令和4）年10月14日

福山市 PTA 連合会ブロック別親善球技大会 COVID-19 感染拡大予防ガイドライン

本ガイドラインは、「学校の新しい生活様式」（文部科学省）、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（スポーツ庁）及び「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（日本スポーツ協会・日本障がい者スポーツ協会）、「福山市中学校体育連盟全国中学校 体育大会実施上の COVID-19 感染拡大予防ガイドライン」等を踏まえて作成しています。

また、大会の実施については、広島県及び福山市の方針等に従い、最新情報も併せて慎重に進めていきます。（延期または中止も含む）

なお、今後の知見の集積及び新型コロナウイルスの感染状況により、随時見直すことがあり得ることに留意ください。

大会実施時の感染防止策

(1) 感染源を絶つ

(2) 感染防止の3つの基本 ①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗い・消毒等の徹底

(3) 3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）の回避

(4) 安全な活動環境の確保

大会本部は、「大会参加に当たっての体調記録表」に記載された者に、名前・年齢・住所・電話番号・体温・来場前2週間における体調の記録等を記入したものを提出させる。

また、応援者（家族等）については、「応援者（家族等）体調記録表」を提出させる。来場後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、市P連事務局に対して速やかに報告することを確認する。

※体調記録表（別紙2）や来場者体調記録表（別紙3）が提出できない場合は、大会への参加や応援（観戦）ができないものとする

※各様式は、大会終了後1か月程度保管する。

期間経過後、責任をもって破棄する。

大会本部は、大会中に選手等の体調不良を確認した場合、大会救護係や医療機関と連携し、当該選手の体調を確認するとともに、安全に帰宅させるなどの対策を講じる。また、体調不良者を一時的に休ませる必要がある場合は他者と接しない個室等で休ませることとし、大会本部はこれに必要なスペースを事前に準備しておく。スペースの確保に関しては施設管理者と事前に確認をしておく。

感染防止の3つの基本

①身体的距離の確保

- ・ 開会式・閉会式は必要最少人数にて行う。
- ・ 選手等は、集合時、待機中、休憩中、食事中などにおいて、選手同士の間隔が、できるだけ2mを目安に最低1m空くようにする。
- ・ 大会本部、運営ブロック等は、試合前後の挨拶等は簡略化し、対戦相手や審判等との握手、選手は仲間と手をつないだり肩を組んだりして行う円陣、ハイタッチなどの実施を制限する。また、各競技において必要な感染予防策を講じる
- ・ 参加者全員が飛沫感染に留意し、近距離での大声を徹底的に避ける。
- ・ 試合中はなるべく発声を避けたり、密集（作戦指示）をできるだけ避けたりする等、距離を確保すること。

②マスクの着用

- ・ 大会本部は、選手、引率者等及び大会関係者にマスク等を準備させ、大会中は、競技等実施時、食事中等を除いて、基本的にマスク等を着用し、咳エチケットを徹底するよう指示をする。

③手洗い・消毒等の徹底

- ・ 大会本部は、選手、引率者等及び大会関係者が、こまめに手洗いを行えるよう、利用する施設と連携し、手洗い場に石けん等を設置するとともに、場内アナウンス等で選手に手洗いを促す。
- ・ 大会本部は、集合時、更衣後、ウォーミングアップ終了後、試合前後、昼食前後、解散時等、アルコール消毒を行うよう参加者に促す。
- ・ 大会本部は、会場の出入口付近等に手指消毒液を設置する。
- ・ 大会本部は、飲みきれなかった飲料等を含め、ゴミは自宅に持ち帰り処分するよう、参加者に周知する。
- ・ 器具、通信機器、審判用具、計測機器、情報端末、その他共用物の使用後は手指の消毒を欠かさず行い、用具や機器の操作は可能な限り担当する人を限定すること。
- ・ 試合で使用する物品（フラッグ、掲示板、モップ等）はこまめに消毒すること。笛はできれば、電子ホイッスルを使用してこまめに消毒すること。

大会終了後に感染等が確認された場合等 ※この場合には「感染した場合」「濃厚接触者に特定された場合」「感染の恐れがある場合」が含まれる。 ※大会終了後2週間までは参加者全てで健康観察を継続することを前提とする。

大会参加時の組合せ（対戦相手等がわかるもの）、その他当該選手の当日の動きに関して把握できる記録等を整え、情報提供の要請に応えられるよう準備する。その他必要に応じて関係機関と情報共有し、感染拡大防止に努める。